

保存科登院実習（保存修復学講座）で模型実習を行った学生へ

この度、東京歯科大学保存修復学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題名

光学印象を用いた窩洞形成自己評価システム開発の基礎的研究

2. 研究目的

窩洞を3次元的に捉えて窩洞形成を行う反復トレーニングを行う上で学生自身が形成窩洞をスキャンし、評価を確認することができる自己評価システムの開発により、技能修得にかかる人的資源、物的資源、費用そして時間を大きく削減することが可能です。そこで本研究では学生自身が窩洞形成を行った模型歯に対してCAD/CAMシステムで利用されている光学印象機器および検査ソフトウェアにて窩洞形成評価、学生による自己評価と教員による目視による評価基準との差を検討します。

3. 研究方法

窩洞形成した模型歯および自己評価シートを研究に使用いたします。

窩洞形成した模型歯の光学印象から得られたデータと学生による自己評価および教員による評価を比較し、自己評価システムとしての妥当性を検討します。また、得られた研究結果について学会発表・論文投稿を行います。

調査の対象となるのは、2019年4月から2019年8月までに第5学年臨床実習で使用した模型歯です。

4. 研究期間

本研究の研究期間は、2020年10月16日～2022年3月31日です。

5. 個人情報等の取り扱い

模型歯および自己評価シートは直接的に個人が特定できない処理を施します。模型歯および自己評価シートに独自の番号を付与し、記録データは鍵のかかった保管庫で管理します。本研究のために入力した電子媒体は、外部から遮断されたコンピュータの外付けハードディスクで管理します。

6. 研究に関する情報公開の方法

日本歯科医学教育学会、日本歯科保存学会での発表および学術論文としての公表を予定しております。

7. 研究協力者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

新たに生じる負担、リスク等はありません。

8. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

9. 研究協力の撤回について

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって学生が成績への影響を含む不利益な扱いを受けることはございません。

10. 費用等に関すること

新たに発生する費用負担、利益相反はありません。また謝金等はありません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 保存修復学講座

研究責任者（情報管理責任者）半場 秀典

連絡先 03-6380-9127